



## 大くま真一 (日本共産党)

- 1.住民の足の確保を ～地域公共交通網で面の移動保障を実現しよう
- 2.DX環境を個人任せにしない市に

**問** 事業者からミニバス南北線の愛宕ルートを2026年3月、桜ヶ丘・和田ルートを2027年3月で受託終了したい旨の申し入れがあった。協議状況と対応について伺う。

**答** 日常の移動手段を確保するために地域公共交通会議で協議を開始した。改訂作業中の交通マスタープランで利用促進や効率化をすすめ、地域交通を支えていきたい。

**問** 市内交通に影響が波及しうるため、住民とも地域交通をまもるための検討が必要。また、利用促進では地域交通網を定額・低額化し、面での移動保障が有効ではないか。

**答** 利用促進や負担手法など市民と共に検討・精査する。

**問** 国へ交通政策基本法に位置付けられた財政措置、都へ都営交通の多摩格差の視点もあわせ要望を。いかがか。

**答** 市長会など機会をとらえて、粘り強く要望していく。

**問** 市職員の業務チャットが個人端末でも運用され、便利な反面、個人負担やセキュリティ面で課題がある。運用改善や端末・回線の設置など環境整備が必要ではないか。

**答** ルールの見直しや環境改善を検討し、すすめていく。



## いいじま文彦 (自民党)

来年度以降の「子どもまんなか」

**問** 本年度、他に先駆けて実施した「こども誰でも通園事業」は本市の子育て環境の素晴らしさを内外に発信した。6月議会では「児童館の今後のあり方基本方針(素案)」も示された。放課後の子どもの居場所のさらなる整備が重要だ。来年度以降の放課後こども教室の実施につき伺う。

**答** 放課後の子どもの居場所を確保していくことは重要であると考えている。昨年度から法人委託化した連光寺小学校及び貝取小学校における取組みを検証し、待機児童が多く出ている東寺方小学校などで、早期に週5日の展開ができるよう調整をしていく。

**問** 市内幼稚園を利用している世帯のうち一定の世帯では、現在、多摩市民への補助が少なく、市外利用者よりも経済的負担が大きくなっているが、改善できないか。

**答** 近隣自治体より幼児教育が充実し、子育てに優しいまちになれるよう、補助制度の見直しに鋭意、取組む。



## 渡辺しんじ (公明党)

投票率向上をめざして

**問** 公職選挙法の改正、主権者教育の推進など投票率向上には抜本的な改革を要すが、多摩市独自の取組みで改善できる部分もある。不在者投票の手続きが煩雑。オンラインで申請できるシステムを構築できないか伺う。

**答** マイナンバーカードを活用した、オンライン申請を検討している。

**問** 出張所などの期日前投票所の混雑が支障となっている。唐木田駅近辺での増設や期間の拡充を要望するがいかがか。

**答** 投票日当日への影響が最小限になるよう可能な範囲での対応としている。

**問** 字が上手く書けない等で読み取れず、無効票になるケースがある。タブレット端末を活用した電子投票の導入を要望するがいかがか。

**答** 無効票の減少や高齢者、障がい者にやさしい手法。システム改善も進んでいる。費用対効果も含め、十分な検証が必要である。



## しらた満 (青空りっけん)

- 1.働き続けられる自治体へ
- 2.学校施設の改修と改善について

**問** 全国で若手職員退職者が増加しているが、多摩市の早期退職者数と市民への影響を問う。

**答** 令和3年度14人、4年度26人、5年度36人、3年間合計20代25人、30代33人、40代8人で市は損失と考える。

**問** 市職員のwell-being向上につながる、メンタルヘルス、ストレス、パワハラ等相談の仕組みについて問う。

**答** メールやチャット等で相談、初動は話を受け止める。内容が重大な場合は上長にも報告する。ハラスメントは人権問題であり、しっかり取組みを継続したい。

**問** 国では公立小・中学校体育館のエアコン設置について新たな臨時特例交付金を創設し、整備ペースも2倍にすることを決定した。多摩市の対応を問う。

**答** 命を守る視点が重要。総合的に判断していきたい。

**問** マイクロプラスチックとPFASについて問う。

**答** 自然由来の製品の重要性を念頭に、プラスチック素材を必要に応じて使いながら効果的な方法を導き出していきたい。

